

# 未来

郵政産業ユニオン  
**PIWU**  
全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙・「みらい」  
NO. 4086  
20年9月4日(金)  
Tel・Fax 095-828-1953

# 「定時」のプレッシャー

おはようございます。

8月は猛暑でしたが9月は台風です。台風9号に続き、最大級の台風10号が近づいてきています。避難も視野に入れ早めの備えをしましょう。

「今日の物数は○○%なので定時で終わるよう」

これは100%未満の物数の時に班ミーティング等で課長が発言されたものです。

お中元繁忙が過ぎ、お盆あたりから比較的郵便物が少ない日が続いていて、この様な業務指示が度々あります。

当日の業務に関してはまず、班の代表を集めての班長ミーティングがあり、課長から業務指示があります。それを代表が班員に伝えています。

最近、数人の社員からこの業務指示についての愚痴を聞いたり、相談を受けることがありました。内容は業務指示の中に出て来るこの「定時」という言葉にプレッシャーを感じているとの事でした。



出退勤システムで超勤時間を入力する時には課長代理以上の役職者が入力する事になっていますが、その際、必ず超勤理由を口頭で伝えなければなりません。

物数が100%以上なら物増と言えますが、100%未満ならなんと答えばよいのでしょうか。この事もプレッシャーの要因になっているのではないのでしょうか。そもそも、配達スピードは人それぞれだし、それを一律に全員定時で終われと言うのは無理があります。

この職場は20歳の社員も60歳の社員も同じ配達区を配達しています。年齢を重ねるごとに体力は落ちるし、視力低下などで内務作業のスピードも落ちてきます。長崎特有の山、坂が多い配達区では配達が速い人と遅い人との差は1時間近くあるかもしれません。

指示とは命令の意味もあり、指示を守らなければ命令に背くことにもなります。

普段の配達のスPEEDで定時指示が守れそうになければ走って配ったり、バイクのスPEEDを上げたりして配達時間を短縮させなければなりません。それでも守れそうにない時は休憩、休息时间も返上している社員もいるのではないのでしょうか。



先日、九州管内で放棄隠匿の犯罪が発覚しました。犯罪に走る理由は

様々ですが、配達が遅い人がほとんどです。

役職者も業務指示は当然出さなければなりません。が、社員がプレッシャーに感じる発言は控えるべきです。そして、物数が少ない時に超勤になった社員に対して超勤理由を聞く前に「お疲れ様」の一言をかけるべきではないのでしょうか？

## 定例窓口報告

8月26日(水)に定例窓口を開催しました。

組合) 3Fの休憩室のクーラーの修理はどうなっているのか？

労担) 業者に依頼したが修理は難しい。メーカーに見てもらっているが型が古すぎて修理するから数百万かかる。100万以上の修理は本社の承認が必要となる。新しいクーラーを設置するのも検討している

組合) 修理するのか、新しいクーラーを設置するのか決まっていない状況の中でクーラーがきくようになるのはいつになるのか？

労担) いつになるかわからない。

組合) 猛暑の中で社員は頑張っている。早急に対応をお願いする。

組合) 3F更衣室の蛍光灯が半分近くきれている。また、3集でも蛍光灯がきれているところがある。

労担) 3F更衣室、3集、順次修理を行っていく。

組合) 先日、暑さ対策費の予算から社員1人に熱さまシート二箱とひんやりタオル一枚が支給されたが、予算の残りはあるのか？

労担) 予算は残っている。同じものを支給するか別のもの支給するかは検討中。具体的にはマスクなども考えている(9月2日に各部へ支給準備されています)

組合) 社員にも聞いてから検討してもらいたい

労担) 8月25日に集配各部(集配センター含む)にゼンリン地図を配布しました。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。  
期間雇用社員の希望者全員が正社員化を。ゆめが、均等待遇。なげんご差別。ユニオンは労基法裁判に勝利したぞ!